



よさの



第33号 H31.3発行

編集発行

与謝野町農業委員会

広報編集委員会

与謝郡与謝野町字加悦433番地
(加悦庁舎2階)

TEL:0772-43-9023 (直通)

京の豆っこ米を中国に輸出！



与謝野町は、農地所有適格法人である京都祐喜(株)と「輸出用米の振興に関する協定」を締結しました。

写真左から、山口徳松さん、山本孝市さん、山添町長、
京都祐喜(株)香山社長、西川誠司さん、成毛義明さん
(P2に関連記事)

【目次】

輸出用米の振興に関する協定の締結	2
受賞おめでとうございます	2
農業座談会が開催されました	2
平成30年度農地情報あれこれ	3

京の豆っこ肥料工場の生産設備を一新	4
稲作研修会が開催されました	4
編集後記	4



輸出用米の振興に関する

協定を締結

与謝野町は2月4日、町内の農地所有適格法人である京都祐喜株式会社と「輸出用米の振興に関する協定」を締結しました。

国は年々減少するコメ需要に対応するため、品質の良い国産米の輸出の推進に力を入れており、同社においては昨年から全国でもその先駆けとして、生産者組合とともに町の特産品である「京の豆っこ米」を中心とした京都府産米の中国への輸出に取り組んでいます。今回締結した協定では、「京の豆っこ米」を中心とした与謝野町の自然循環農業を推進することを目的に、輸出用米の品質向上、生産振興、流通販売、生産者支援、生産者組合の運営、町内への情報伝達等の項目について両者の役割を明確にしながら連携・協力して取り組むこととしています。

今後、この取組みが進むことで農地の維持保全が図られ、いつまでも与謝野町の美しい田園風景が保たれることを願っています。



2月26日に平成30年度丹後産コシヒカリ良食味米共励会の表彰式が行われました。

与謝野町からは、後野の小谷安博さんが最優秀賞（京都府知事賞）、算所の野口道男さんが優秀賞（与謝野町長賞）を受賞されました。

お二人の今後の益々のご活躍が期待されます。



写真左から、野口道男さん、山添町長、小谷安博さん

農業座談会が

開催されました

農業再生協議会（事務局・農林課及びJA）主催の農業座談会が、2月19日に元気館、22日に野田川わーくばるで開催され、平成31年産米の生産方針や経営所得安定対策の概要等が説明されました。

平成30年産米以降、国からの生産数量目標の配分（生産調整）が無くなったため、作付の目安にする数値を示してほしいという農業者からの要望に因應するため、町が方針を示しました。

方針の内容は、「主食用米については、現状の作付規模を維持する方向で取組むことを基本とし、需要の拡大する中食・外食用向け業務用米の契約栽培など、実需者と結びついた生産を支援する。」また、「主食用以外の水稻（加工用米等）については、需要先との結びつきやマーケットニーズに応じた生産拡大を推進する。」というものでした。

また、京都府農業共済組合からは、水稻共済加入申込書（水稻共済細目書）について、「収入保険

制度が始まったことにより水稻共済は任意加入となりますが、耕作者や作付作物等を把握するための重要な書類であることから、引き続き全ての農業者の方に提出をしてほしい。」とのお願いがありました。



農業座談会の様子

平成30年度農地情報あれこれ

貸借料情報・作業請負料金・農地の動き



●貸借料情報 《物納》

区分	平均額
町内全域(田)	30.5kg/10a

《現金》

区分	平均額
町内全域(田)	5,100円/10a

※与謝野町では、物納による貸借が多いため、物納の集計を行いました。

※平成30年1月から12月までに、農地法及び農業経営基盤強化促進法により締結(公告)された貸借料を集計しています。

※話し合いは、5,100円/10a(平成29年度の平均額)で価格換算しています。

※特殊な取引(高額・無償)に係るデータは除いています。

※この情報は、昨年の情報ですので、必ずお互いで話し合い、納得できる貸借料を決めて下さい。

●農作業請負料金

区分	参考価格 (機械使用料込・オペレーター料込・税別)
荒起こし	11,000円/10a
切り替えし	7,000円/10a
代かき	8,000円/10a
田植え (苗・農薬・肥料別)	(肥料散布無) 8,000円/10a (肥料散布込) 9,000円/10a
コンバイン刈	25,000円/10a
合計	59,000円/10a~60,000円/10a
乾燥・調製	1,250円/30kg
畔ぬり	80円/m

農地のことは農業委員会へ!

農業委員会では毎月8日前後に総会を開催し、農地法等に基づき審査を行い、許可・承認を行っています。

申請書は毎月20日(20日が休祝日の場合は翌開庁日)までに農業委員会事務局へ提出をお願いします。

※近年、農作業請負料金(参考価格)については据え置きとしていましたが、燃料代・農業用機械代の高騰により、切り替えし・代かき・コンバイン刈を、前年より1,000円/10a上げております。

※ほ場の条件や燃料費の変動等により異なりますので、必ず双方で話し合い、納得できる料金を決めて下さい。

●農地の動き (H30.4~H31.3)

申請・届出 区分	件数	面積 (㎡)	申請・届出 区分	件数	面積 (㎡)
農地法第3条	17	38,060	農地形状変更	7	5,654
農地法第4条	2	2,410	非農地明	17	8,561
農地法第5条	14	15,700	利用権設定	214	637,794



京の豆っこ肥料工場の

生産設備を一新

昨年度、与謝野町が推進する自然循環農業の根幹である有機質肥料「京の豆っこ」を生産する与謝野町有機物供給施設（京の豆っこ肥料工場）の生産設備が一新され、今春の作付けから新しくなった京の豆っこ肥料が供給されます。

新しい肥料は粒状となり、撒きやすく農家の使い勝手が格段に向上しています。また、風による飛散も少ないため無駄なく使えて周辺環境への影響も少ないものになっています。

肥料の生産能力も上がり安定的な供給ができるようになったことで、与謝野町の特産である「京の豆っこ米」の栽培面積の拡大も可能になりました。

これにより、「京の豆っこ米」の生産力とブランド力をさらに高め、農業経営の向上と農地の維持保全が図られることを期待しています。



加悦奥にある豆っこ肥料工場



設備が一新された工場内

稲作研修会が

開催されました

1月29日に元気館で与謝野町稲作研修会が開催されました。

今年は、三重大学生物資源学部の関谷先生をお招きし、「美味しいお米にまつわる最近の話」と題して講演が行われました。

講演では「タンパク含有量を下げること、食味値は高得点につながるが、それが全て美味しいお米であるとは言えない。特に次世代の消費者は従来とは異なる美味しさの基準をもっている。最終的には消費者が決める。」といった報告があり、とても勉強になる楽しい研修会でした。



稲作研修会の様子

編集後記

去る2月18日に丹後ブロック、2月25日には府内全体の女性農業委員・推進委員研修交流会が開催され、木村委員と参加してきました。

ベテラン委員さん達との懇談の中で各ブロック、各市町村の取り組みや様々な問題点などを聞かせていただき、とても勉強になりました。

委員になって半年が過ぎましたが、初心者マークを外せる日はまだ遠そうです。未だにわからない事だらけなので、先輩委員の皆さん方に教えてもらいながら学ばせてもらいます。



(小田 則子 委員)

広報編集委員

委員長	水口 俊彦
副委員長	木村有紀子
委員	小田 則子
〃	矢野 憲一
〃	廣野 伸一
〃	伊達 幸男